

安全保障理事会議長声明

「2006年11月22日付の安全保障理事会議長宛の国連事務総長からの書簡(S/2006/920)」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2009年5月5日に開催された、安全保障理事会の第6119回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を発した。

安全保障理事会は、現在のネパールの政治的な危機に関して懸念を表明し、また、ネパール政府と全ての政党が妥協の精神の中で共同での活動を継続する緊急の必要を強調する。安保理は、これまでに和平プロセスの実施において取られた措置に留意し、そのプロセスへの完全な支持を想起する。

安全保障理事会は、国際連合ネパール使節団(UNMIN)への完全な支持を再確認し、また、現行の職務権限の終了までに、UNMINの活動の完成に資するような条件を整備するために、毛派軍事要員の監視、統合および社会復帰のための特別および技術委員会の作業を通してを含め、必要な決定をとり続けるようネパール政府に対して求めている決議1864(2009)を想起する。

安全保障理事会は、ネパール政府の未成年者を軍隊の駐屯地から除隊させるとの公約を想起し、また、ネパール政府に対し、国際法に基づいてこの公約を履行するよう求める。